

エコアクション21 環境経営レポート

【対象期間】

2023年11月 ～ 2024年10月

2025年 2月10日 発行

コウチ重電工株式会社

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営計画の取組結果とその評価
10. 次年度の取組内容
 - （1）環境経営目標
 - （2）環境経営計画
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
12. 代表者による全体評価と見直しの結果
13. その他の取組

発行日：2025年 2月 10日
発行責任者：環境管理責任者 野村 裕士

次回発行予定： 2026年 1月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 コウチ重電工株式会社

【代表者氏名】 代表取締役 谷山 昌弘

【所在地】

本社・倉庫 〒783-0024 高知県南国市東崎4-4-2番地
資材置き場 〒783-0048 高知県南国市岡豊町小簗南野387-15

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者	野村 裕士
連絡先担当者	永野 美弥子
連絡先	TEL 088-864-2655
	FAX 088-863-6226
	E-mail jkouchi@feel.ocn.ne.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業

電気工事業(電気設備・太陽光発電工事)
電気通信工事業(情報通信関連工事)

建設業許可

高知県知事 許可(特一6)第2170号 令和6年10月16日 電気工事業・電気通信工事業	高知県知事 許可(般一6)第2170号 令和6年10月16日 土木工事業・解体工事業・管工事業
--	---

【産業廃棄物収集運搬業許可】（建設下請業者の場合）

○許可の内容

- ・収集運搬業許可番号：03900018558
- ・許可年月日：令和6年12月20日
- ・許可の有効期限：令和11年11月21日
- ・事業区分：収集・運搬（積替え又は保管を除く）
- ・収集運搬する廃棄物の種類
廃プラスチック（※1を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（※1を含む）、がれき類（※1を含む）
※1：石綿含有産業廃棄物

○施設等の状況 ・運搬車両の種類と台数：小型車両（2 t 以下）2 台

○処理実績 ・ 収集運搬量 0 t / 年

○収集運搬料金 0 円 / t

【事業規模】

設立年月日 昭和49年10月
資本金 20百万円

	2022年度	2023年度	2024年度
完成工事高 (売上高) (百万円)	278	261	232
従業員数 (名)	23	23	24
事業所床面積 (㎡)	175	175	175
倉庫床面積 (㎡)	180	180	180
資材置場敷地面積 (㎡)	661	661	661

従業員数は、2月1日現在

会計年度 11月 ~ 10月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

コウチ重電工株式会社

本社・倉庫 〒783-0024 高知県南国市東崎4-4-2番地

資材置き場 〒783-0048 高知県南国市岡豊町小籠南野3-8-7-15

対象事業： 電気工事業（電気設備工事、太陽光発電工事）
電気通信工事業（情報通信関連工事）
産業廃棄物収集運搬業

【レポートの対象期間】

2023年11月～2024年10月

【環境経営レポートの発行日】

2025年2月10日

【作成責任者】

環境管理責任者 野村 裕士

こうちSDGs推進企業 登録証



こうちSDGs推進企業として登録し、ここに証します。

登録事業者: コウチ重電工株式会社

登録番号: 556

登録期間: 令和6年11月6日 から 令和9年11月5日 まで
(2024) (2027)

令和6(2024)年11月6日

高知県知事

濱田 省司



3. 環境経営方針

【環境経営理念】

コウチ重電工株式会社は、高知県内で電気設備工事及び電気通信設備工事を行っています。建設事業による環境への影響を考慮し、地域の環境保全に向けた効果的な環境経営システムを構築し、これを全社で自主的、積極的に運用することにより、環境負荷低減を行い、継続的な改善による環境経営を推進します。

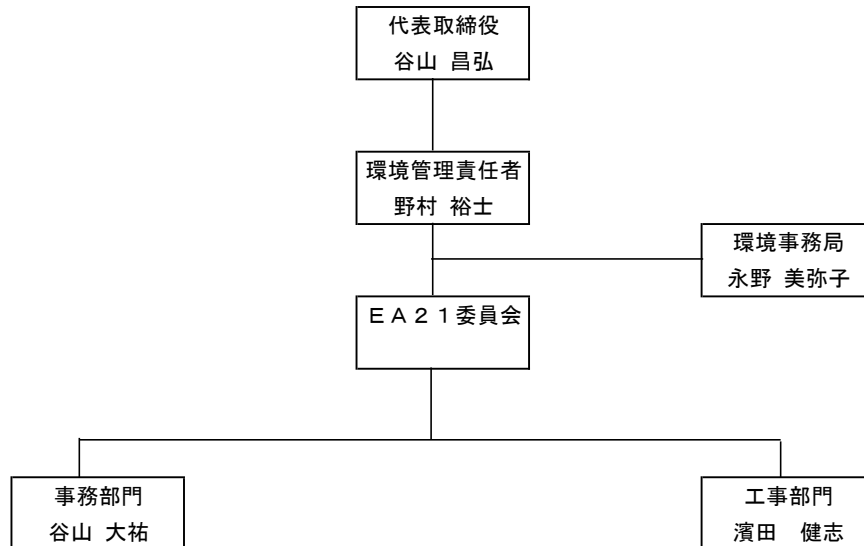
【基本方針】

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 建設機械、車両等の燃料使用量の削減による二酸化炭素の排出量を削減します。
3. 電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 廃棄物発生抑制、削減、リサイクルを促進します。
5. 環境に配慮した通信工事工法・資材の活用を促進します。
6. 環境に配慮した電気設備（省エネ化）施工に努めます。
7. 水使用量を削減します。
8. グリーン購入を促進します。
9. 環境経営方針を全従業員に周知徹底します。
10. 社会貢献活動に積極的に参加します。
11. 環境経営レポート等の環境情報については、広く外部に公表いたします。

制 定 日：平成26年7月1日
代表者変更：平成30年11月1日
代表取締役

谷山 昌弘

4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

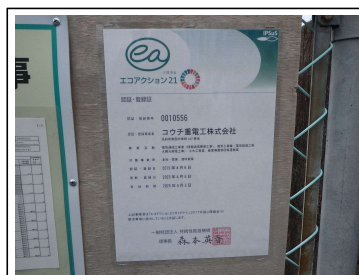
	役割・責任・権限
代表者	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理実施体制の承認 ・ 代表者による全体評価と見直し実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理実施体制の確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理実施体制原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開
部門長	・ 自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・ 自部門に関係する環境経営計画の実施、達成状況報告 ・ 自部門に関係する緊急事態訓練の実施 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- 燃料使用量の削減については、削減出来た
- 電力使用量の削減については、増加した
- 環境美化活動については、時間が取れず実施できなかった



< コウチ重電工株式会社の物質フロー> (2024年度)

<INPUT>

燃料 21,904 L

電力 20,612 kWh

用水 29 m³

コウチ重電工株式会社の
事業活動

<OUTPUT>

CO2 65,895 kg-CO2

排水 29 m³

廃棄物 7,885 Kg

6. 環境経営目標 (2024年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2013年度 2012.11-2013.10	2024年度 目標 2023.11-2024.10
売上高		百万円	228	255
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	10,573	11,500
	原単位	(ℓ/百万円)	46	45
軽油使用量	総量	(ℓ)	13,781	18,500
	原単位	(ℓ/百万円)	60	73
電力使用量	総量	(kWh)	18,553	19,700
	原単位	(kWh/百万円)	81	77
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	70,733	84,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	310	329
用水使用量	総量	(m ³)	45	35
	原単位	(m ³ /百万円)	0.20	0.14
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	601	665
	原単位	(kg/百万円)	3	3
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	4,206	15,500
	原単位	(kg/百万円)	18	61
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	61	80
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(211/211)	100
環境美化活動	総量	(回)	1	2

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(R2年度実績)
(令和4年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.574(kg-CO₂ /kWh)を使用した。
- * 2. 環境負荷の少ない工事(全受注工事対象)
○省エネ資材(リサイクル材、エコケーブル等)の使用推進
○低騒音、排出ガス対策型重機の使用
○太陽光発電、LED照明機器の促進
- * 3. 目標値については2023年度の工事件数は前年より減っているが、遠方工事が引き続き入っているのでガソリンと軽油は高めでそれ以外は低めに設定しました

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2013年度 実績(基準年)	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
売上高		百万円	228	270	275	280
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	10,573	11,200	10,900	10,600
	原単位	(ℓ/百万円)	46	41	40	38
軽油使用量	総量	(ℓ)	13,781	18,100	17,700	17,300
	原単位	(ℓ/百万円)	60	67	64	62
電力使用量	総量	(kWh)	18,553	19,600	19,500	19,400
	原単位	(kWh/百万円)	81	73	71	69
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	70,733	83,000	82,000	81,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	310	307	298	289
用水使用量	総量	(m ³)	45	34	33	33
	原単位	(m ³ /百万円)	0.20	0.13	0.12	0.12
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	601	660	655	650
	原単位	(kg/百万円)	3	2	2	2
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	4,206	15,300	15,100	14,900
	原単位	(kg/百万円)	18	57	55	53
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	61	85	90	95
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(211/211)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	1	2	3	3

7. 環境経営計画

(2024年度)

期間：2023年11月 ～ 2024年10月

項目		活動内容	担当者	期限
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○タイヤの磨耗チェック、交換	現場責任者	2024. 10. 31
		○アイドリングストップの徹底		
		○高所作業車などの省エネ運転を推進		
		○車両の軽量化(不要な物は積載しない)		
	電力使用量 削減	○事務室の照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯	野村	
		○不使用時のパソコンの電源OFF		
		○エアコンの温度管理		
		○倉庫・トイレなど、照明は普段は消灯し、使用時のみ点灯		
用水使用量削減 (排水量削減)		○節水呼びかけの表示をしている	野村	
		○定期的な漏水チェック		
		○蛇口の水量調整		
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	永野	
		○FAXがパソコン画面で確認できるプリンターを導入使用する		
	産業廃棄物	○施工方法や作業方法を見直し、廃棄物の発生量の抑制に取り組む	現場責任者	
		○産業廃棄物は再資源化業者に委託する		
環境負荷の少ない 工事の実施		○省エネ資材(リサイクル材、ケーブル等)の使用推進	現場責任者	
		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用		
		○太陽光発電、LED照明機器の促進		

8. 環境経営目標の実績

(1)本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2013年度 2012.11～2013.10	2024年度 目標 2023.11～2024.10	2024年度 実績 2023.11～2024.10	実績値／目標値 (%)	評価
売上高		百万円	228	255	232	91%	
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	10,573	11,500	9,426	82%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	46	45	41		
軽油使用量	総量	(ℓ)	13,781	18,500	12,478	67%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	60	73	54		
電力使用量	総量	(kWh)	18,553	19,700	20,612	105%	△
	原単位	(kWh/百万円)	81	77	89		
CO ₂ 排出量	総量	(kg－CO ₂)	70,733	84,000	65,895	78%	○
	原単位	(kg－CO ₂ /百万円)	310	329	284		
用水使用量	総量	(m ³)	45	35	29	83%	○
	原単位	(m ³ /百万円)	0.20	0.14	0.13		
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	601	665	650	98%	○
	原単位	(kg/百万円)	3	3	3		
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	4,206	15,500	7,235	47%	○
	原単位	(t/百万円)	18	61	31		
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	61	80	96	120%	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(211/211)	100	100(280/280)	100%	○
環境美化活動	総量	(回)	1	2	0	0%	×

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(R2年度実績)
(令和4年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.574(kg－CO₂ /kWh)を使用した。
- * 2. 環境負荷の少ない工事(全受注工事対象)
○省エネ資材(リサイクル材、エコーブル等)の使用推進
○低騒音、排出ガス対策型重機の使用
○太陽光発電、LED照明機器の促進
- * 3. 評価は、「○＝100%以下」、「△＝101～110%」、「×＝110%以上」で評価する。
(産業廃棄物再資源化率は、「○＝100%以上」、「△＝99～90%」、「×＝90%以下」で評価する)

<環境経営目標未達成等理由>

電力使用量:この項目に関しては微増の為、△とした

環境美化活動:今回は河川清掃等時間が取れず取組めなかった

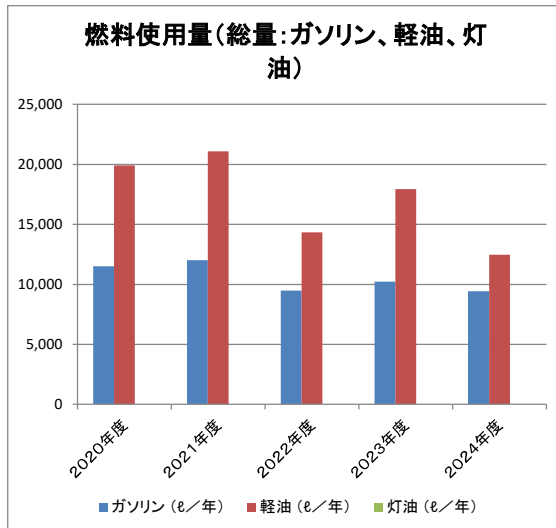
＜過去の実績＞

項目	総量・原単位	単位	2013年度 実績(基準年)	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績
売上高		百万円	228	378	265	267	279
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	10,573	8,257	9,378	9,433	11,031
	原単位	(ℓ/百万円)	46	22	35	35	40
軽油使用量	総量	(ℓ)	13,781	12,286	11,527	12,729	17,544
	原単位	(ℓ/百万円)	60	33	43	48	63
電力使用量	総量	(kWh)	18,553	22,976	22,597	21,394	21,077
	原単位	(kWh/百万円)	81	61	85	80	76
CO ₂ 排出量	総量	(kg- CO ₂)	70,733	64,042	64,467	67,005	82,953
	原単位	(kg- CO ₂ /百万円)	310	169	243	251	297
用水使用量	総量	(m ³)	45	34	34	37	37
	原単位	(m3/百万円)	0.20	0.09	0.13	0.14	0.13
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	601	228	301	601	770
	原単位	(kg/百万円)	3	1	1	2	3
産業廃棄物排出量	総量	(t)	7,980	2,940	5,920	4,984	6,544
	原単位	(t/百万円)	35	8	22	19	23
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	23	23	59	43	35
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(211/211)	100(191/191)	100(203/203)	100(210/210)	100(282/282)
環境美化活動	総量	(回)	1	2	3	3	3

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
売上高		百万円	225	247	377	278	261
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,020	11,509	12,015	9,476	10,226
	原単位	(ℓ/百万円)	53	47	32	34	39
軽油使用量	総量	(ℓ)	14,603	19,905	21,087	14,340	17,935
	原単位	(ℓ/百万円)	65	81	56	52	69
電力使用量	総量	(kWh)	20,756	19,354	19,680	19,933	19,329
	原単位	(kWh/百万円)	92	78	52	72	74
CO ₂ 排出量	総量	(kg- CO ₂)	77,476	89,164	93,575	70,425	81,092
	原単位	(kg- CO ₂ /百万円)	344	361	248	253	311
用水使用量	総量	(m ³)	35	33	34	29	34
	原単位	(m3/百万円)	0.16	0.13	0.09	0.10	0.13
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	688	665	665	654	656
	原単位	(kg/百万円)	3	3	2	2	3
産業廃棄物排出量	総量	(t)	4,206	10,540	16,311	15,556	12,668
	原単位	(t/百万円)	19	43	43	56	49
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	61	76	99	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(207/207)	100(309/309)	100(343/343)	100(301/301)	100(250/250)
環境美化活動	総量	(回)	2	1	1	1	1

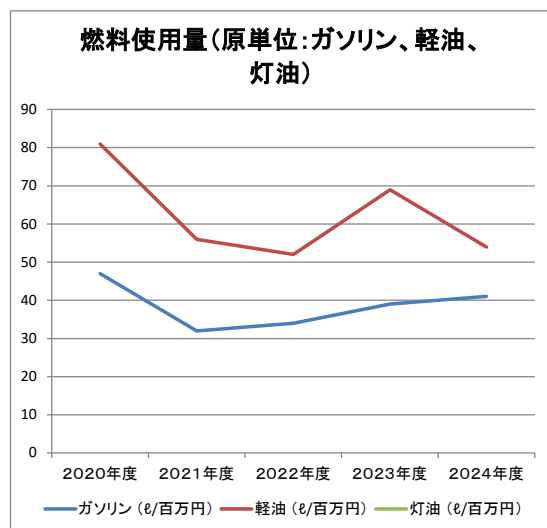
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2020年度	11,509	19,905	
2021年度	12,015	21,087	
2022年度	9,476	14,340	
2023年度	10,226	17,935	
2024年度	9,426	12,478	



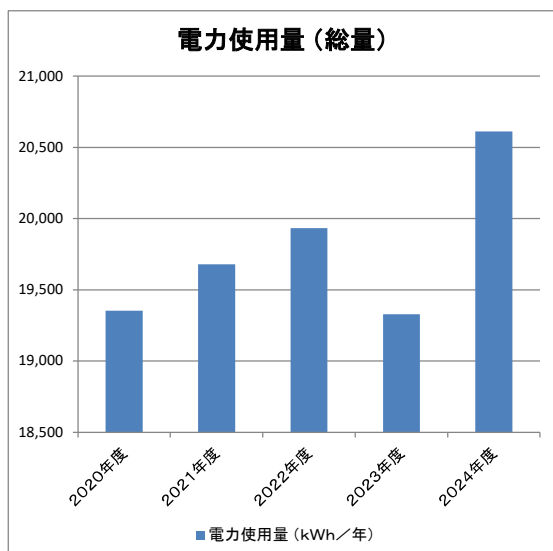
燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
2020年度	47	81	
2021年度	32	56	
2022年度	34	52	
2023年度	39	69	
2024年度	41	54	



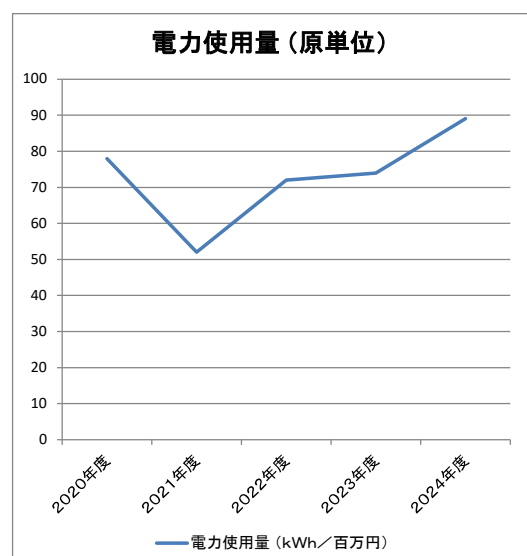
電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2020年度	19,354
2021年度	19,680
2022年度	19,933
2023年度	19,329
2024年度	20,612



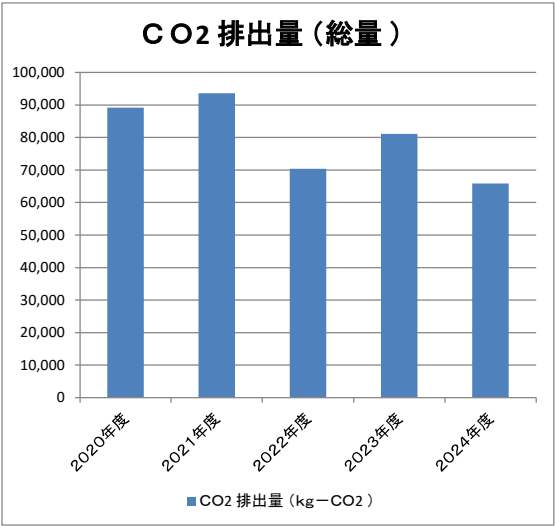
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2020年度	78
2021年度	52
2022年度	72
2023年度	74
2024年度	89



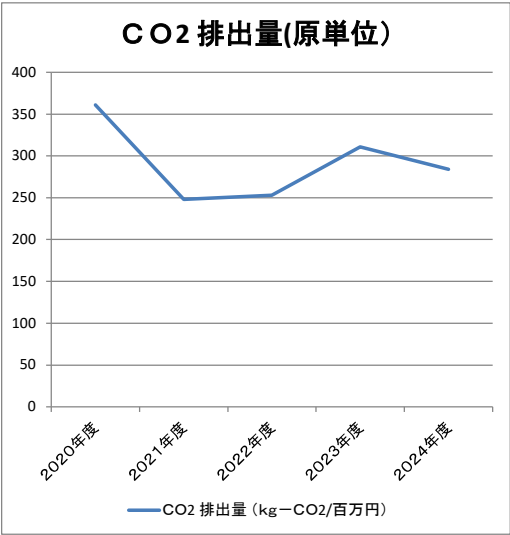
CO₂ 排出量（総量：（kg-CO₂）

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2020年度	89,164
2021年度	93,575
2022年度	70,425
2023年度	81,092
2024年度	65,895



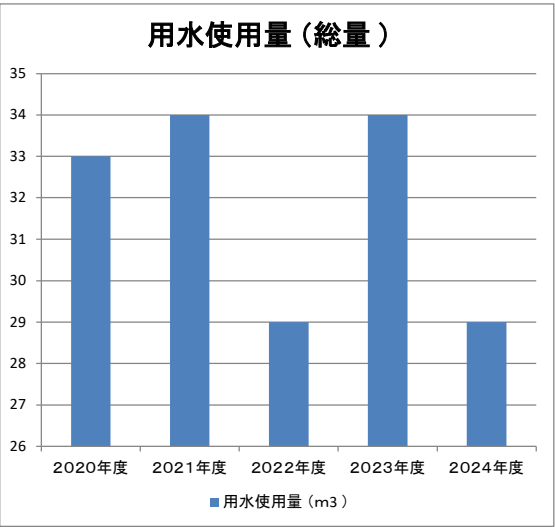
CO₂ 排出量（原単位：kg-CO₂/百万円）

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)
2020年度	361
2021年度	248
2022年度	253
2023年度	311
2024年度	284



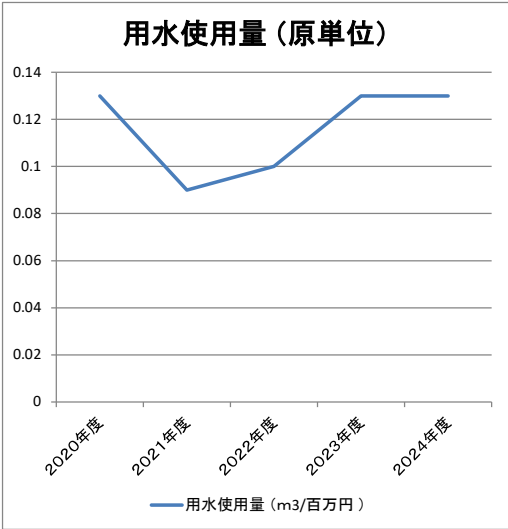
用水使用量（総量：m³）

年度	用水使用量 (m ³)
2020年度	33
2021年度	34
2022年度	29
2023年度	34
2024年度	29



用水使用量(原単位：m³/百万円)

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2020年度	0.13
2021年度	0.09
2022年度	0.1
2023年度	0.13
2024年度	0.13

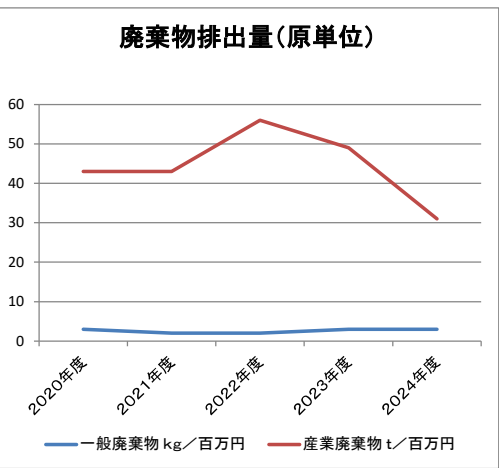
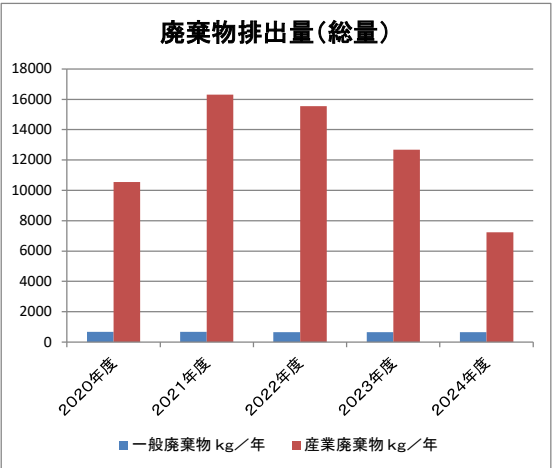


廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)
単位:一般廃棄物 kg/年
単位:産業廃棄物 kg/年

年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 kg/年
2020年度	665	10,540
2021年度	665	16,311
2022年度	654	15,556
2023年度	656	12,668
2024年度	650	7,235

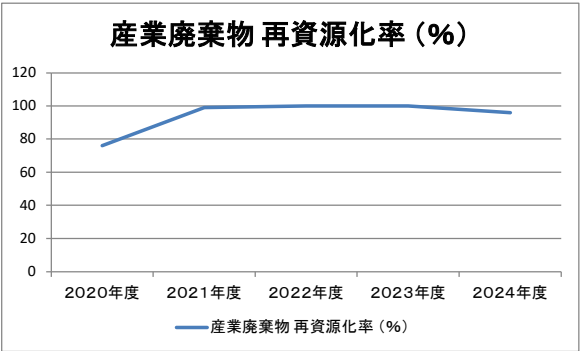
廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)
単位:一般廃棄物 kg/百万円
単位:産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 t/百万円
2020年度	3	43
2021年度	2	43
2022年度	2	56
2023年度	3	49
2024年度	3	31



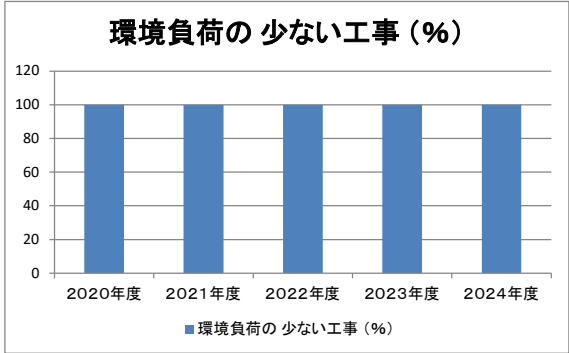
産業廃棄物再資源化率 (%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2020年度	76
2021年度	99
2022年度	100
2023年度	100
2024年度	96



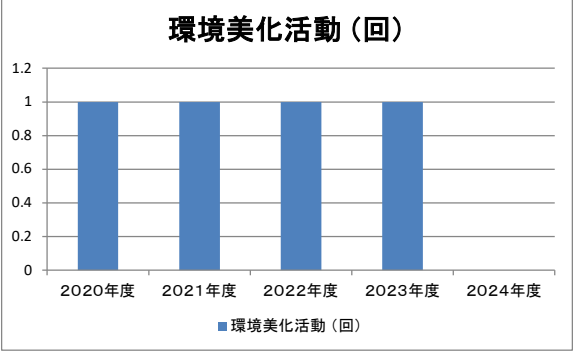
環境負荷の少ない工事 (%)

年度	環境負荷の 少ない工事 (%)
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100
2024年度	100



環境美化活動(回)

年度	環境美化活動 (回)
2020年度	1
2021年度	1
2022年度	1
2023年度	1
2024年度	0



9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：2023年11月 ～ 2024年10月

項目		活動内容	担当者	取組結果	評価	見直し
C O 2 排出量削減	燃料使用量削減	○タイヤの磨耗チェック、交換	現場責任者	出来ていた	活動内容は良く取り組めていた	活動内容を見直しつつ引き続き継続していく
		○アイドリングストップの徹底				
		○高所作業車などの省エネ運転を推進				
		○車両の軽量化(不要な物は積載しない)				
	電力使用量削減	○事務室の照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯	野村	出来ていた	前年度より使用料が増加しているが、活動内容は良く取り組めていた	活動内容を見直しつつ、物価上昇で電気料金等も上がっているので引き続き削減努力を継続していく
		○不使用時のパソコンの電源OFF				
		○エアコンの温度管理				
		○倉庫・トイレなど、照明は普段は消灯し、使用時のみ点灯				
	用水使用量削減 (排水量削減)		○節水呼びかけの表示をしている	野村	出来ていた	活動内容は良く取り組めていた
○定期的な漏水チェック						
○蛇口の水量調整						
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	永野	出来ていた	良く取り組めていた	活動内容を見直しつつ引き続き継続していく
		○FAXがパソコン画面で確認できるプリンターを導入使用する				
	産業廃棄物	○施工方法や作業方法を見直し、廃棄物の発生量の抑制に取り組む	現場責任者	出来ていた	良く取り組めていた	活動内容を見直しつつ引き続き継続していく
		○産業廃棄物は再資源化業者に委託する				
環境負荷の少ない工事の実施		○省エネ資材(リサイクル材、エコブル等)の使用推進	現場責任者	出来ていた	良く取り組めていた	活動内容を見直しつつ引き続き継続していく
		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用				
		○太陽光発電、LED照明機器の促進				

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

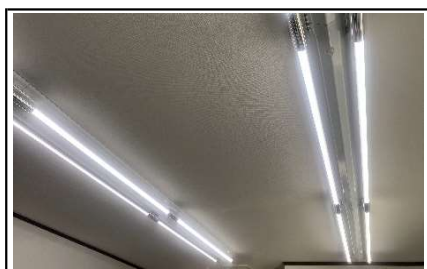
(1) 燃料使用量削減



急発進・急加速・急停止の禁止

社用車内に「急発進・急加速・急停止の禁止」のシールを貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。

(2) 電力使用量削減



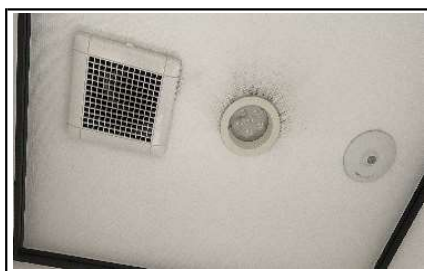
本社事務所 1・2 階 LED 照明設置

本社事務所 1・2 階の照明は LED を設置しています



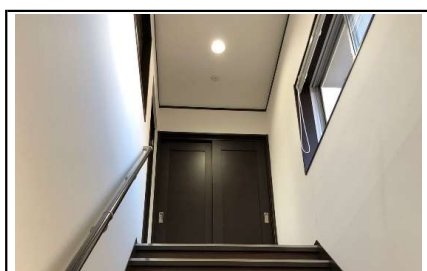
昼休みの消灯

本社事務所の照明を昼休み（12時～13時）消灯し、節電に努めています。



トイレ照明に人感センサー設置

本社事務所内トイレの照明に人感センサーを設置し、節電に努めています。



本社事務所階段に人感センサー設置

本社階段照明に人感センサーを設置し、節電に努めています。

2. 用水使用量の削減



節水シール貼付

本社事務所（南・北）の水道蛇口に節水シールを貼付け、啓発を計っています。

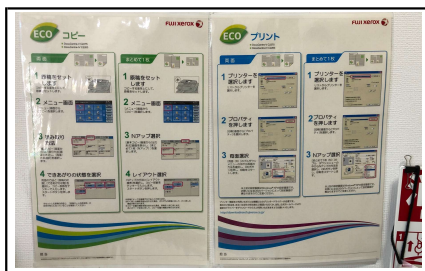
3. 廃棄物の削減

（１）一般廃棄物の削減

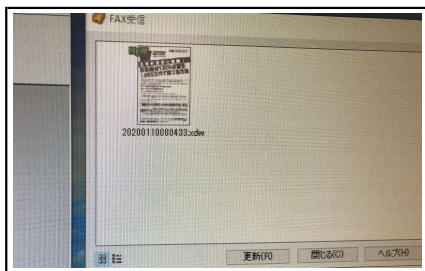


コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は、裏紙として使用しております



提出書類以外のコピー、印刷物は両面・Nアップを利用してまとめて印刷しています



FAX受信分はパソコン画面で確認

受信したFAXは、パソコン画面で確認し、必要な物だけを打ち出しています。

4. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入

事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。

対象商品：コピー用紙、ファイル類、詰替え商品、ボールペン他

5. 環境負荷の少ない工事



低騒音、排出ガス対策型発電機の使用

工事で使用する発電機は低騒音、排出ガス対策仕様を使用し、工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用

工事名称：県道龍河洞公園線外18路線 道路照明維持管理委託業務

工事期間：2024年4月1日 ～2025年3月31日

工事場所：高知県香美市（土佐山田町）、高知県香南市
県道香北赤岡線道路照明灯新設



環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用

工事名称：庁舎非常照明回路等改修電気工事

工事期間：2023年5月19日 ～2024年3月15日

工事場所：南国市大堀甲2301

LED照明取付



10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標 (2025年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年(基準値) 2015年度～2023年度 2014.11～2023.10	2025年度 目標 2024.11～2025.10
売上高		百万円	286	250
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	10,372	10,000
	原単位	(ℓ/百万円)	36	40
軽油使用量	総量	(ℓ)	15,773	16,500
	原単位	(ℓ/百万円)	55	66
電力使用量	総量	(kWh)	20,788	20,000
	原単位	(kWh/百万円)	73	80
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	76,689	78,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	268	312
用水使用量	総量	(m ³)	34	33
	原単位	(m ³ /百万円)	0.12	0.13
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	671	665
	原単位	(kg/百万円)	2	3
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	11,856	13,000
	原単位	(kg/百万円)	41	52
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	87	90
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(255/255)	100
環境美化活動	総量	(回)	1	1

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(R2年度実績)
(令和4年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.574(kg-CO₂ /kWh)を使用した。
- * 2. 環境負荷の少ない工事(全受注工事対象)
 - 省エネ資材(リサイクル材、エコケーブル等)の使用推進
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 太陽光発電、LED照明機器の促進
- * 3. 目標値について、2024年度は全体的に使用量が減っているので低めに設定しました
- * 4. 基準年(基準値)について、前回審査時の要求事項として指摘をうけた為、過去の実績の平均値を用いることとした
基本は2015年度～2023年度の平均値であるが、以下3項目は途中数値の把握ミスがあった為それぞれ記載の年度からの実績値とする
 - ・産業廃棄物排出量、産業廃棄物再資源化率は2019年度からの実績
 - ・一般廃棄物排出量は2017年度からの実績

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2015年度～2023年度 基準年(基準値)	2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
売上高		百万円	286	260	270	280
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	10,372	9,900	9,800	9,700
	原単位	(ℓ/百万円)	36	38	36	35
軽油使用量	総量	(ℓ)	15,773	16,200	15,900	15,600
	原単位	(ℓ/百万円)	55	62	59	56
電力使用量	総量	(kWh)	20,788	19,900	19,800	19,700
	原単位	(kWh/百万円)	73	77	73	70
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	76,689	77,000	76,000	75,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	268	296	281	268
用水使用量	総量	(m ³)	34	33	32	31
	原単位	(m ³ /百万円)	0.12	0.13	0.12	0.11
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	671	660	655	650
	原単位	(kg/百万円)	2	3	2	2
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	11,856	12,000	11,000	10,000
	原単位	(kg/百万円)	41	46	41	36
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	87	92	94	96
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(255/255)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	1	1	2	2

10. 次年度の取組内容

(2) 環境経営計画 (2025年度)

期間：2024年11月 ～ 2025年10月

項目		活動内容	担当者	期限
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○車のエアコンの使用の抑制	現場責任者	2025. 10. 31
		○できるだけ相乗りで行く		
		○高所作業車などの省エネ運転を推進		
		○車両の軽量化(不要な物は積載しない)		
	電力使用量 削減	○事務室の照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯	野村	
		○不使用時のパソコンの電源OFF		
		○エアコンの温度管理		
		○倉庫・トイレなど、照明は普段は消灯し、使用時のみ点灯		
用水使用量削減 (排水量削減)		○節水呼びかけの表示をしている	野村	
		○定期的な漏水チェック		
		○蛇口の水量調整		
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	永野	
		○印刷前の文章チェック		
	産業廃棄物	○材料取りを効率的に行い、端材の発生量を抑制する	現場責任者	
		○産業廃棄物は再資源化業者に委託する		
環境負荷の少ない 工事の実施		○省エネ資材(リサイクル材、ケーブル等)の使用推進	現場責任者	
		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用		
		○太陽光発電、LED照明機器の促進		

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	野村	順守	随時
	第7条の13項	○一般廃棄物収集運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時	現場責任者	順守	随時
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	野村	順守	随時
	第12条の10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	野村	順守	随時
	第12条の3	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	永野	順守	随時
	第12条の37項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	永野	順守	随時 6月末
	第14条	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新）	期限切れ 3ヶ月前	野村	順守	随時
	第14条の12項	産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分				
	規則第8条	○保管場所の表示 見やすい箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	野村	順守	随時
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	現場責任者	順守	随時
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	現場責任者	順守	随時
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	現場責任者	順守	随時
騒音規制法	第5条 第14条	○騒音規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	現場責任者	順守	随時
振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	現場責任者	順守	随時
浄化槽法	第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	永野	順守	随時
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシ油	必要時	現場責任者	順守	随時
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の1／5以上指定数量未満の危険物貯蔵）	必要時	現場責任者	順守	随時
	第17条の3の2	○消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工10日前	現場責任者	順守	随時
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	第19条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000C02-т/年以上、事業所所管大臣への報告	年1回	野村	順守	随時
	第5条	○定期点検の実施 エアコン：7.5kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 冷蔵庫、冷凍機：7.5kW以上 ○エアコンの簡易点検	1回／3年 1回／年 1回／年 1回／3ヶ月	野村	順守	随時
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条の15 第18条の17 第18条の20 第18条の22 第18条の23	○解体等工事受注者は、石綿使用の有無（全ての石綿含有建材）について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明する。 ○特定粉じん作業開始の14日前までに都道府県知事に届出 解体工事：床面積80m ² 以上 建築物改造：請負代金100万円以上 ○特定工事の元請け業者若しくは下請け業者は特定粉じん排出作業において作業基準を遵守 ○元請業者の下請に対する粉じん排出作業を適切に行うよう指導 ○特定粉じん作業完了後、結果を遅滞なく発注者に書面で報告と記録の作成保管	必要時	現場責任者	順守	随時
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	野村	順守	随時
南国市環境基本条例	第5条 第28条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理 ○事業者の地球環境保全への取組	必要時	野村	順守	随時

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年11月より 2024年10月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

代表者
谷山

代表者による全体評価と見直しの結果

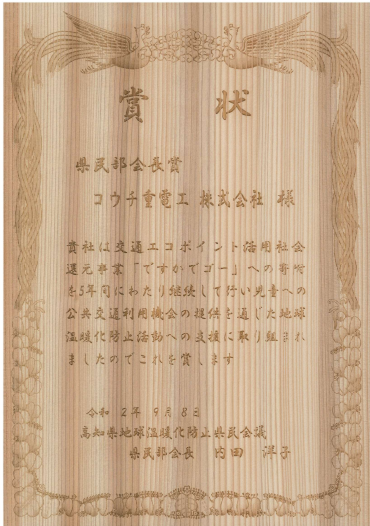
- 定期見直し
- 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し																																					
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項																																					
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 ・関連法規等に関しては遵守しており、違反・訴訟等はありませんでした。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・是正処置及び予防処置に関する問題は特にありませんでした。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 ・燃料・電気・水道の使用量の削減に関しては、電気以外は大変良く削減できた引き続き環境経営目標と環境経営計画を軸に削減できる様に努力していきたい ・電気の消し忘れについては都度声かけを行っていた <改善提案> ・特にありません 【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】 <table><thead><tr><th>目標項目</th><th>目標値 達成状況</th><th>経営計画 達成状況</th><th>コメント (目標値、活動計画に対するコメント)</th></tr></thead><tbody><tr><td>燃料使用量の削減</td><td>○</td><td>○</td><td>今後も継続していく</td></tr><tr><td>電力使用量の削減</td><td>△</td><td>○</td><td>目標値わずかに達成できなかった</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量削減</td><td>○</td><td>○</td><td>今後も継続していく</td></tr><tr><td>用水使用量の削減</td><td>○</td><td>○</td><td>今後も継続していく</td></tr><tr><td>一般廃棄物排出量削減</td><td>○</td><td>○</td><td>今後も継続していく</td></tr><tr><td>産業廃棄物排出量削減</td><td>○</td><td>○</td><td>今後も継続していく</td></tr><tr><td>環境負荷の少ない工事</td><td>○</td><td>○</td><td>今後も継続していく</td></tr><tr><td>環境美化活動</td><td>×</td><td>○</td><td>今後も継続していく</td></tr></tbody></table> <改善提案> ・環境美化活動については、会社付近の河川の清掃等なるべく時間を見つけて取組んでいきたい 【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より ・外部からの環境に関する苦情等はありませんでした。 ②環境関連法規制等の動向他 ・改定等は特にありませんでした。 <改善提案> ・特にありません。				目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	燃料使用量の削減	○	○	今後も継続していく	電力使用量の削減	△	○	目標値わずかに達成できなかった	二酸化炭素排出量削減	○	○	今後も継続していく	用水使用量の削減	○	○	今後も継続していく	一般廃棄物排出量削減	○	○	今後も継続していく	産業廃棄物排出量削減	○	○	今後も継続していく	環境負荷の少ない工事	○	○	今後も継続していく	環境美化活動	×	○	今後も継続していく	【環境経営方針】 変更の必要性： ☐有 ☒無 ・エコアクション21の認証取得も10年目となるが、環境経営方針に関しては特に変更点もなく現行通りとする。 【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】 変更の必要性： ☒有 ☐無 ・前回の審査の際に指摘を受けて、環境経営目標の単年度・中長期目標の基準年(基準値)を2015年度～2023年度の平均値となる様に見直しました 【その他】 変更の必要性： ☐有 ☒無 【総括】（環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載） 2024年度はガソリン・軽油使用量は遠距離の現場もあったが、実績値は下がっている。長年の指導の表れではないだろうか。 このまま無理のない範囲で続けていってほしいと思う 夏の猛暑時に電力量が多くなるので対策が必要と思われるがグリーンカーテン等の設置がなかなか難しいので案はないかと考える 環境美化活動の河川清掃などは全社的になかなか時間が取れず難しい時があるので、地区の不燃物の日などに少し出し方の悪い時（ペットボトル・空き缶等散らばっている場合）、道に落ちているゴミ等目についたとき片付けるなど小さな活動をしている 全体的に数値が大きく変わる事はないので、環境経営システムは有効に機能している	
				目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)																																		
				燃料使用量の削減	○	○	今後も継続していく																																		
電力使用量の削減	△	○	目標値わずかに達成できなかった																																						
二酸化炭素排出量削減	○	○	今後も継続していく																																						
用水使用量の削減	○	○	今後も継続していく																																						
一般廃棄物排出量削減	○	○	今後も継続していく																																						
産業廃棄物排出量削減	○	○	今後も継続していく																																						
環境負荷の少ない工事	○	○	今後も継続していく																																						
環境美化活動	×	○	今後も継続していく																																						
代表者が自ら得た情報																																									
・特にありません																																									

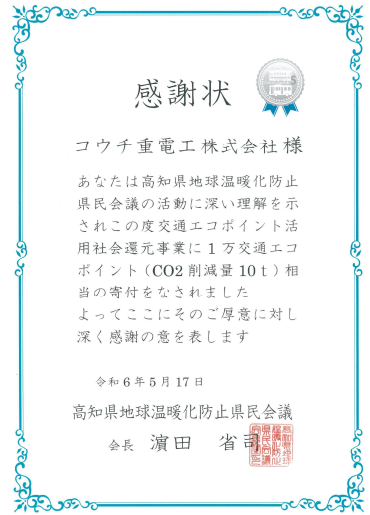
13. その他の取組

1. 自然保護団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2016年1月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2016年5月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2017年6月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2018年6月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2019年7月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2020年7月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2021年6月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2022年6月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2023年7月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2024年7月



交通エコポイント活用社会還元事業 寄付継続5年



交通エコポイント活用社会還元事業 令和6年度分